

秋田と茅ヶ崎二箇所居住

新しい土地で一日の始まり

枕元の目覚まし時計が真っ暗の中起床を告げる。ガバッと跳ね起き電灯のスイッチを、目を刺す光の中ぶるっと身を震わせ手早く服を身に着ける。

顔を洗い湯を沸かし紅茶を魔法瓶につめラケットを肩に玄関を出る。

まだ薄暗い中足元に気を付けながら車庫のシャッターを上げる、寒さでカジカンダ冷たい手をハンドルの上に、5時半車はゆっくりと車庫を出てライトに照らされた道路を走り出した。

7号線を走ること30分、目指す八橋のテニスコートに無事到着。

明るくなり始めたコートからはポンポンとボールを打つ音が聞こえる。

早足でコートに入り「おはようございます」。

同じ趣味を持つ者は、容易に打ち解け親しむことが出来るものだ。

準備運動、乱打、前衛練習、身体が温まりゲーム開始、ベンチで待つ間に軽いおしゃべりで楽しい2時間はあっという間に過ぎ一日が始まる。

心地よく疲れた身体を車に、出勤途中の車の列と反対に家路に急ぐ。

潟上市の中ほど出戸浜海水浴場から東に数キロ、これといったランドマークもない国道7号線から少しそれ車の往来が結構激しい道路沿いの畑の中に、家はポツンと建っている。

道路を挟んで数軒、その他数百m離れて家が点在し、東には奥羽本線そのまま向こうには田んぼと山並みが続く平野である。

広い畑のうち道路側の1000坪の土地を自由に使うことが出来るので、家の南側は庭に北側は畑として使うことにした。

庭は雑草を抜き平らに慣らし一部に芝を張りました。凸凹が出来ましたがよしとしました。

また、出かけた先々で果樹その他の苗木を買っては植えていきました。フェンスに沿ってはバラを植え、イングリッシュガーデン風に出来ないかと創造するだけで楽しいものでした。

一方畑は、あらかじめ実家の義兄が必要部分に耕運機をかけておいてくれました。

畝を作り牛糞を入れ軽く土をかぶせ種や苗を植え最後に土寄せをする。

この作業の繰り返しです。

簡単そうに思えたこともやって見ると、なんのなんの砂地で軽い筈なのに中腰の姿勢が多い筋肉労働で、だらしなない事に直ぐに疲れてしまい、農作業は秋田で育った妻の方が一枚上でした。

それでも一通りの野菜を植え荒れた空き地が畑に変わり、努力の甲斐あって人が住んで居るんだと分かるほどに整ってきました。

秋田以前

朝から夕方迄時間割に沿って、40年間勤めた学校も定年を一年後に控え、新たな人生に思いを巡らせました。

教職が楽しくなかった訳ではなく、寧ろ充実した多くの時間が過ごせました。授業では生徒に教えられる事多々あり、子供の潜在能力に驚かされ、学校行事は忙しい中でも全校の生徒と触れ合え、楽しい時間はあっという間に過ぎました。

楽しいと言えば、放課後の部活動は遣り甲斐があり、生徒と苦楽を共有できる時間です。よく、部活動が負担だと言われるが、私は部活動と授業は教職の両輪だと思う。部活は学年を超え同じ目標に向かい互いを高めていく活動で、授業とは異なる多くの事が経験でき、後の人生に大きく影響を与える力さえ持っています。

私も1年目に、軟式庭球(ソフトテニス)部をまかされ、未経験なので生徒に教えてもらいながら頑張りました。

部員達とは初めから良い関係であった訳ではなく、辛く我慢の時を経て、結果が出るようになった時には身体を壊し顧問をやめることになりましたが、後悔する事は一度もありません。この経験が後の私の生活を豊かなものにしてきているのは言うまでもありません。

秋田もいいね

妻の実家は秋田で姉と共有の家付きの畑があります。秋田は今の住まい神奈川県茅ヶ崎からはかなり遠方ですが、農作業をして自給自足とまではいかないまでも、新鮮で安全な野菜を食べながら自由に暮らすのもいいではないかと思えました。車は実家で使っていたものを、その他特別用意しなければならない物もなく、殆ど物の揃っており、妻の身内も近くにいて行くことに不安はありませんでした。

しかし、茅ヶ崎は静かな海沿いの住宅地で、交通の便もよく年間を通し温暖で冬でもサーファーで賑わいソフトテニス仲間もいて離れがたい土地です。そこで、秋田と茅ヶ崎の良いところ取りで、夏は秋田に、寒くなったら茅ヶ崎と二箇所居住を試みることに決めました。

加えて言えば、秋田に行くことを後押ししたのは、趣味のソフトテニスで秋田でも出来る事が分かったからです。事前に、テニスができる環境にあるか確認のため潟上市を訪ね、天王体育館でソフトテニス教室があることを知りました。

また、潟上市の広報で、ソフトテニスで好成績を挙げている妻の知人kさんがいる事を知り、秋田市のG倶楽部と八郎潟町の同好会入会の労をお願いし、快く引き受けてもらいました。

G倶楽部は四十代から八十代の男女数十人で構成され、創立も古くレベルも高いので不安でしたが、行ってみたら誰もがテニスを愛し気さくで親切、「もう少し真ん中を護った方がいいよ」「ウン、だすな」と秋田弁を交えたアドバイスに何時しか引き込まれ、心配したことが嘘のように直ぐに溶け込むことが出来ました。

旅立ちの準備

こうして秋田行きに迷いはなくなりましたが、解決しなければならないことが車の運転です。30年以上前に免許証を取っただけのペーパードライバーで運転には自信がありません。そこで急遽自動車教習所で路上教習を受講することになりました。

指導員の指示に従い「右折だ」「左折だ」「ブレーキだ」と握るハンドルに汗をかきながら、まさに命がけの訓練です。それでもなんとかOKをもらいましたが正直少し心配です。

加えてした事、それは食事を作る事。

そこで基礎と魚の2コースを学ぶため半年間料理学校に通いお金と時間を投資しましたが、終わってみれば得ることもありましたが、まあ適当にやればいいのだと納得したしだいでした。

JRの大人の休日倶楽部にも入会、3月退職、少し暖かくなるのを待って4月下旬秋田に出発。新たに第二の人生に、期待と少し不安を胸に乗り出しました。

豊かな暮らし

農作業も初めの頃は、トマトの脇目を欠く作業をしなかった為、

横に広がり近所の人から「これ新種」と聞かれたり、西瓜の食べごろが分からなかったり、

胡瓜を大きくならせすぎたりと失敗もありました。

それでも早朝に取れる若い絹さやは柔らかく美味、ナスの花は無駄なく実を付け収穫の喜びを味わうことができました。

ボール一杯のイチゴは朝食のデザートやジャムに、疎らになったブドウの実を農作業の合間につまみ、素晴らしく立派な実を付けた柿は干し柿、食べ切れないくらいの収穫があった栗は、テニスの仲間にも差し上げる事が出来ました。

春には蕨や蕨の山菜が採れ、果樹は花を付け急に周囲が華やかになり、雉やリスも庭先まで訪れます。初夏にはカッコウが鳴き、初冬に首を長くした白鳥がV字編隊で現れると、茅ヶ崎に帰る仕度にかかるのです。

畑や庭仕事は大変ですが、手を掛けた以上の喜びが味わえ、今までに経験した事が無いなんと豊かな暮らしが出来るのです。

ソフトテニスで交流

テニスは八郎潟町で昼間、G倶楽部は早朝と合わせて週に4回ほど練習しています。試合はダブルスを組むので同程度の技量を持ったHさんを紹介されました。

彼は私より年長で親切、ボランティア活動にも時間を割き一緒にいて楽しい紳士です。

テニス以外でも、県内の彼方此方案内していただいたり、イタリア料理の何々が好きだと言えばレストランに連れて行ってくれたりと、今では秋田の兄のような存在で、

テニスでは彼は後衛私は前衛として、いつも気持ちをひとつにして練習に試合に頑張っている汗を掻いています。

茅ヶ崎では、隣が近いので、先ず考えられないことですが、秋田では誰にも遠慮することなく、自分流のやり方で思い切り練習が出来ます。

雨の時には車を外に出し、車庫をプライベート雨天練習場にしてあります。

なんと贅沢な事でしょうか、こんな事が出来るのも田舎の良さで最高！です。

ただし、これで上手くなっているかどうかは別の話しですが？

秋田に来て数年経った時、茅ヶ崎のテニス仲間6人が、竿灯見物と観光を兼ねて3泊4日で訪ねて

きました。

我が家で寝起きしながら、温泉に行ったり秋田の酒や食を楽しみ、こちらのテニス仲間と親睦試合をして大いに親交を深め、秋田を堪能して帰宅しました。

また、余程気に入ったのか数年後再度訪ねて来るほどで、私としても嬉しいかぎりです。

思わぬこと

その他楽しみはテレビと読書。

車で10分程度の所の町内の図書室を利用しますが、困ったことに二箇所居住で住民票が移って無いので本を借りて来ることは出来ません。

係の方に事情を話して便宜を図ってくれないか頼みましたが、出来ませんの一言でこれには非常にがっかりさせられました。

十二年も居るのに、堂々と本一冊借りることができないのには少々驚きです。

幸いにも？後日別の係の方が義兄の名前で図書カードを作ってくれたので、今は義兄になって借りています。本当は規定違反なのでしょうね！

秋田県は人口減少を止めるのに努力しているはずですが。外から一人でも多くの人を呼べるように、関係人口を増やす上でもこの様な事にも便宜を図ってもらえると、気持ちよく暮らせると思うのですが。

がんばれ秋田

私同様田舎暮らしに憧れている人は少なくないでしょうが、茅ヶ崎に居て聞く秋田は『秋田美人、きりたんぼ、なまはげ、酒、米』ぐらいです。

秋田は広く自然が一杯でいいところもありますが、これだけで冬の寒さが厳しい秋田に住みたいと思うでしょうか。

秋田市を例にとると、建物の統一性、デザイン、空間、何かゴチャゴチャしてませんか。

せっかく国内6番目の広さを持ちながら、十分なゆとりもとらず街に特別な美しさも感じられません。もっと秋田の林業を活かし、秋田らしい魅力のある街作りは出来ないでしょうか。

これは、秋田に限らず日本の大部分の都市に共通して言える事ですがね。

時折テレビで大都市での大地震特集が組まれ、被害の大きさと対応の大切さを訴えています。

地震を止めることは出来ませんが、被害は少なくする事は出来るはずですが。

今はテレワークも進んできているので、国策として、大企業の協力を得て大都市の人口密度を小さく出来れば、被害を少なくして地方の活性も進み一石二鳥ではないでしょうか。

しかし、国だけに頼らず秋田県が知恵を絞り、秋田に住みたいと思わせる努力が必要です。

500万余の人口で世界で生活しやすい国ランキング上位の北欧諸国は参考にならないでしょうか。

最後に

家に風を通すとか、高齢者の特定検診等何やかやと用が出来て、

年に数回新幹線で茅ヶ崎秋田間を往復します。その都度車内でビール片手にお気に入りの駅弁を食べ、小旅行を味わえるのも二箇所居住の贅沢のひとつです。

最後にもうひとつ、二箇所居住は地元の人との関わり方も大切で、その点も充分頭に入れておきたい事です。

その点妻は地元で知人も多く、私は趣味の仲間に恵まれ本当によかったと思います。

これからも健康な内はこの生活形態を続けて行きたい、そして、最高齢のソフトテニスプレイヤーになる事が私の初夢です。望めば誰もがこんな生き方が容易に出来ないものでしょうか。

おわり